

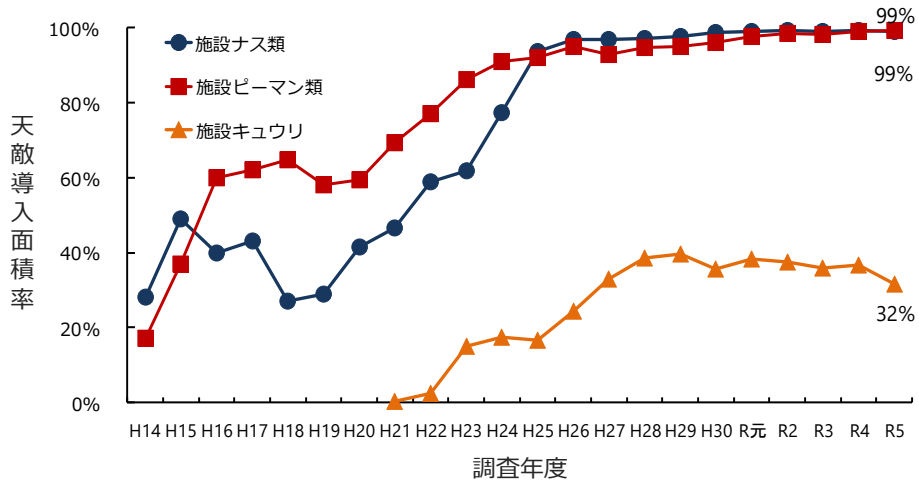
# 総合防除の普及推進を図るための 令和6年度全国キャラバン

～高知県における総合防除の普及～

令和6年9月4日  
高知県 朝比奈 泰史

1

## 主要果菜類における天敵導入率の推移



**キュウリは虫媒介性のウイルス病、病害防除の問題があり、  
天敵導入率が伸びない**

2

## 主要品目における天敵導入状況(令和5年度調査)

品目	栽培面積 (a)	市販天敵導入面積(a)				土着天敵導入面積(a)	
		タイリク ヒメハケカメムシ	スワルスキー カブリダニ	リモカス カブリダニ	コルマン アブラバチ	タバコ カスミカメ	カビヨウタン カスミカメ
ナス類 (促成)	24,316	291	7,676	24	635	<b>24,067</b>	0
ピーマン類 (促成)	6,350	<b>2,260</b>	<b>5,613</b>	100	1,816	<b>3,820</b>	782
シシトウ (促成)	1,732	534	<b>1,538</b>	0	471	<b>1,415</b>	217
キュウリ (施設)	10,630	0	<b>2,776</b>	121	0	<b>2,145</b>	0



タイリクヒメハケカメムシ



スワルスキーカブリダニ

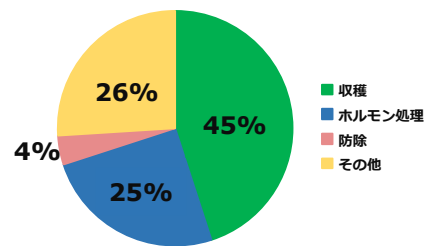


タバコカスミカメ

3

## 高知県で天敵導入に取り組んだ理由①

着果促進のために行うホルモン剤処理の時間を減らしたい



施設ナス栽培における作業別労働時間割合

マルハナバチに影響が少ない農薬での防除体系構築が必要



マルハナバチの利用

4

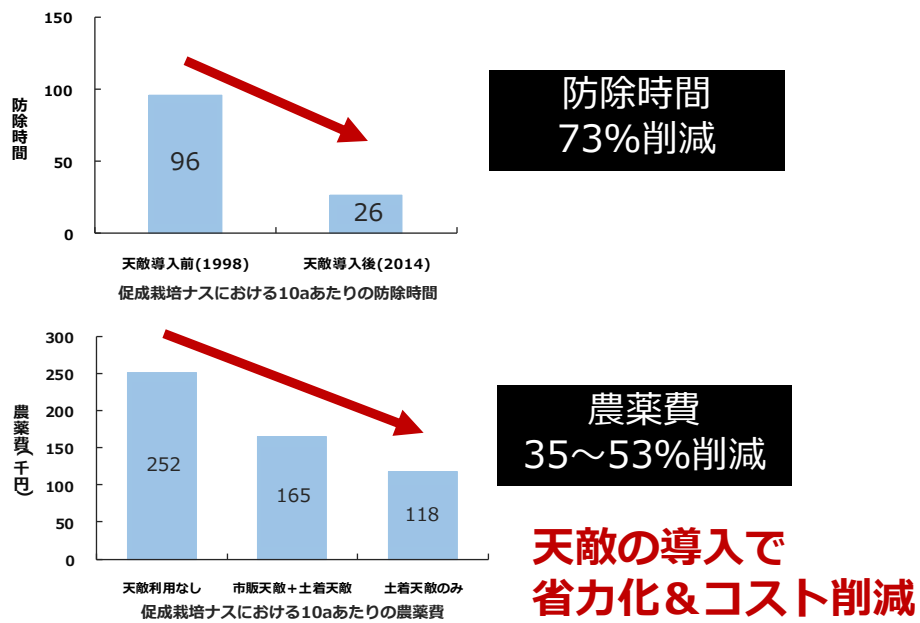
## 高知県で天敵導入に取り組んだ理由②

### 薬剤抵抗性が発達した害虫の発生



5

## 天敵導入による効果



6

## 天敵普及のために

### JAの取り組み

- ・天敵を農家配付(補助事業)

### 県の取り組み

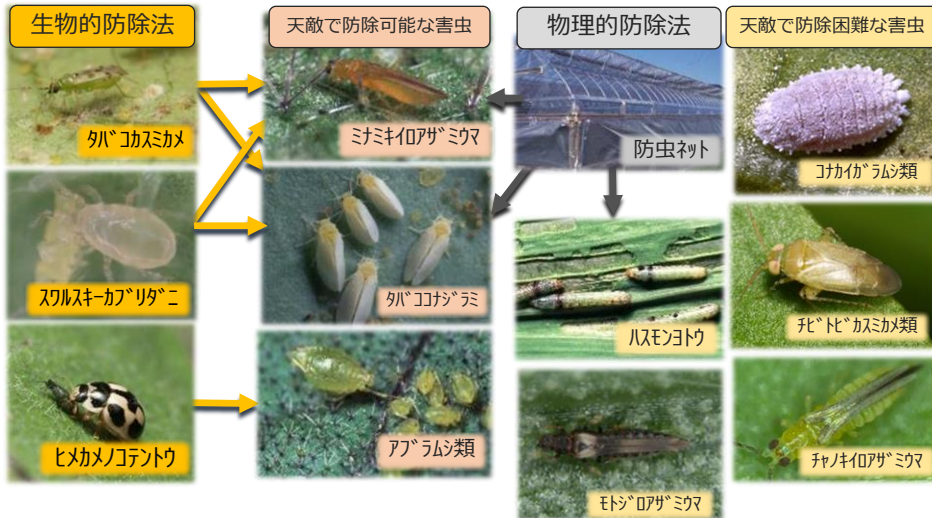
- ・実証ほの設置
- ・天敵利用マニュアルの作成



**現場主導の取り組みを  
研究、行政でバックアップ**

7

## 天敵中心の害虫防除体系(ヒーマンでの一例)



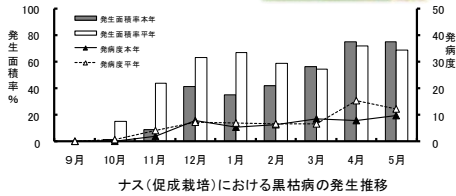
**天敵で防除困難な害虫が多発した場合は、  
農薬によるリセットもやむなし**

8

## 総合的病害虫防除体系の確立にむけて

### 病害の発病予測システムの開発

#### 黒枯病による被害

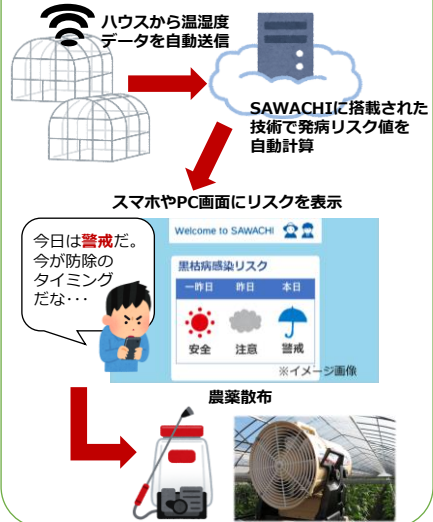


#### 農家が抱える問題

発病のタイミングがわからないため、定期的  
に薬剤防除を実施しているため、**必要以上の  
労力と経費を要している**

**発病予測に基づく防除システムの構築  
により労力&経費削減**

#### 発病予測システムの開発



9

## 総合的病害虫防除体系の確立にむけて

### 常温煙霧の普及、推進



- ・県で5機を購入しR3~現地実証
- ・県単の補助事業で購入可
- ・キュウリ登録農薬：殺菌剤13、殺虫剤3
- ・ナス登録農薬：殺菌剤8、殺虫剤1
- ・適用拡大のため、試験実施中

10

「省力的だし、満遍なくかかる」。高知市で冬春キュウリ14畝を8連棟ハウスで栽培する山脇由美子さん(70)は、頭上の噴霧装置に目をやりながら、笑顔を見せる。農薬散布は通常、畝間ごとに1列ずつ専用の防除機を引

きながら噴霧する。準備や片付けを含めてこれまで90分はかかっていたが、15分で済むという。

# 除害に…ハウスの間に寝てる間に

## 農薬霧状に自動散布▼省力化



### 高知で拡大

「省力的だし、満遍なくかかる」。高知市で冬春キュウリ14畝を8連棟ハウスで栽培する山脇由美子さん(70)は、頭上の噴霧装置に目をやりながら、笑顔を見せる。農薬散布は通常、畝間ごとに1列ずつ専用の防除機を引

きながら噴霧する。準備や片付けを含めてこれまで90分はかかっていたが、15分で済むという。

このから3階層は、散霧に使うのは、使用方をすませずして、法の拡大、登録を申請し、1坪に20gの必要量が、散霧装置に、噴霧器で、ハウス全体に行き渡る。キュウリでも10割、他にナス、ブドウやミカドスに入れないが、翌年まで作業できる。防除は月4回、常温で、他の3回で、薬剤は常温で、登録されて、作業負担が重い。1回でも、噴霧するのには、めんどろい。

「省力的だし、満遍なくかかる」。高知市で冬春キュウリ14畝を8連棟ハウスで栽培する山脇由美子さん(70)は、頭上の噴霧装置に目をやりながら、笑顔を見せる。農薬散布は通常、畝間ごとに1列ずつ専用の防除機を引